

令和7年度自己評価結果公表シート

青英学園幼稚園

青英こども園

1. 本園の教育目標

- ★ 明るい笑顔と基本的な生活習慣を育む
- ★ 健康で感性豊かなこども
- ★ 自分で考え表現できるこども
- ◇ 基本的な生活習慣と正しい生活態度、(挨拶、言葉遣い、整理整頓、交友関係、お話を聞く態度等) 特にお話を聞く時の態度と理解力の向上を図り、集団生活で必要な協調性を養う。
- ◇ 何事にも集中して粘り強く取り組む姿勢を養い、成し遂げた喜びと満足感が自信になり、そこからさらに積極的に明るい性格に育つように導く。
- ◇ 体育・徳育・知育の総合教育を偏りなく実施し、幼児の未知なる可能性と伸び伸びした豊かな心を育む。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ◇ 教育の資質向上への取り組み
教育課程・指導計画の再確認を行い、全職員間で客観的に自園を見る目を養い施設の改善や、保育の指導案の改善に取り組む。
- ◇ 子どもたちへの理解を深め、保育を通して子どもの成長に気づき、子育ての喜びを保護者の方と一緒に共感しあい信頼関係の構築に努める。
- ◇ 保幼小の連携をさらに進め近隣施設との交流の場を広げ進学しやすい環境を整えていく。
- ◇ 安全管理の意識を深める取り組みを行う。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	評価	取組状況
教職員の資質向上の取り組み	A	<ul style="list-style-type: none">・ 様々な課題にそった研修での学びを会議で報告し合いながら共有し職員全体の資質向上に繋げている。・ 毎日の朝礼終礼で日々の子どもの姿、又は保護者からの意見・要望について、報告・連絡・相談の場を設けて情報を全員が共有する環境を作っている。・ 刻々と変わっていく情勢を敏感にとらえ、必要な知識を職員間で共有していく。
園児に接する時の基本姿勢を周知徹底	A	<ul style="list-style-type: none">・ 特に、言葉遣いの適正を意識し、親切かつ丁寧な接し方を再確認の上、常に教職員が手本となり行動で示す。・ 一人ひとりの子どもの長所を認め、教諭が公平かつ客観的に園児を見る目を養うように努める。

地域交流と 保幼小の連携	A	<ul style="list-style-type: none"> 警察署歳末警戒発足式・消防署防火教室・だんじり曳きなど、園児・保護者とも地域の方々との交流イベントに参加しました。また、連携園や学校との交流会や施設見学を行い、子ども同士だけでなく職員間の交流も深めることが出来ました。次年度も引き続き行ってまいります。
安全管理の意識を 高める	A	<ul style="list-style-type: none"> 災害を想定して作成している緊急時引き渡しカードの使用の仕方を参観日で保護者の方と再確認を行い、各家庭での利用方法についても促し周知しました。 安全点検(園内・保育室・遊具・ヒヤリハット)を実施し改善点を職員に共有している。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

評価 A	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で情報共有(報・連・相)を徹底し、こどもたちや保護者へ親切丁寧に接するようにしました。常に教職員が子どもたちへの手本となるように言葉遣いにも意識して保育にあたりました。 保幼小接続では充実した打ち合わせや振り返りをしたり、交流会でこどもも楽しみました。 今まで交流していなかった小学校への参観など新しい試みの実施をしました。 安全管理の面では緊急引き渡しカードの使用確認することで保護者と災害時の対応確認が出来ました。
------	---

5. 今後取り組むべき課題

近隣小学校との 連携数を増や していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 交流小学校を増やし、見学、交流会などを通して進学への不安解消を努めると共に、小学校への段差の解消に努める。 連携園との交流が定着しつつあるので引き続き交流を深めていくように取り組む。
保護者が安心 安全に預けら れる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが安心して発信や行動ができる環境づくりの構築をする。 職員間のコミュニケーションの円滑化をはかり、個々のこども対応へ適切に関わり配慮をする。 努力目標達成に向けて職員もこどもも見通しを持って取り組めるようにする。
子育て支援の 充実をはかる	<ul style="list-style-type: none"> 外国にルーツをもつ園児の入園が増えており、保護者こどもと共に安心して過ごせる環境を整えるようにする。又巡回指導に来てもらい一人ひとりの育ちを大切にしていく。 子育てに不安のある保護者に対しては気持ちを受け止め親身に対応するように心がけると共に、園庭開放ではお子さんがいる方に限らず妊婦さんや育休中の職員が集まり、不安や心配事が相談できる場として展開していきたいと考えています。